レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和5年10月13日	使用開始日			
登録診療科	腫瘍内科	申請医師	植田勲人	化学療法委員会承認年月	年　月
レジメン名	modified FOLFIRINOX				
疾患名	膵がん	適応の備考	UGT1A1遺伝子多型 *6および*28 ホモ、また、*6および*28 ともヘテロの際はイリノテカンの減量を考慮する		
適応分類	進行再発				
1コース日数	14 日間	総コース数	コース	催吐性リスク	中等度
抗がん剤投与量・投与日	オキサリプラチン85mg/㎡ day1、イリノテカン150mg/㎡ day1、5－FU 2400mg/㎡ day1				

治療スケジュール ・ 投与日程（投与日は●）　（day）

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	主ルート	生食20mL	1 本 / body		●													
	中心静脈注射																	
			/															
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●													
	中心静脈注射	ホスアプレピタント注150mg	1 本 / body		●													
	抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴する		/															
3	主ルート	ﾊﾟﾛﾉｾﾄﾛﾝ注ﾊﾞｯｸﾞ0.75mg50mL	1 本 / body		●													
	中心静脈注射	デキサート注1.65/0.5mL	3 本 / body	30 分	●													
			/															
	デキサートは3.3mgでも可																	
4	主ルート	5%ブドウ糖250mL	1 本 / body		●													
	中心静脈注射	オキサリプラチン	85 mg / ㎡	2 時間	●													
		減量基準あり	/															
5	側管	5%ブドウ糖液250mL	1 本 / body	2 時間	●													
	中心静脈注射	レボホリナート	200 mg / ㎡		●													
	レボホリナートとイリノテカンは同時開始																	
6	主ルート	5%ブドウ糖液500mL	1 本 / body	90 分	●													
	中心静脈注射	イリノテカン	150 mg / ㎡		●													
		減量基準あり																
	レボホリナートとイリノテカンは同時開始		/															
7	主ルート	生食100mL	1 本 / body	46 時間	●													
	中心静脈注射	5-FU	2400 mg / ㎡		●													
		点滴速度：46時間																
		減量基準あり																
	携帯型ﾃﾞｨｽﾎﾟｰｻﾞﾌﾞﾙ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ																	
	希釈後の液量を総量140mLとなるよう調製																	

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。（例：Rp2とRp3を同時に投与開始する。）

【投与上の注意】

Rp.2)生食＋ホスアプレピタントは削除可能（その場合は、デキサート注を9.9mg(6.6mgも可)にする）

初回投与時及び嘔気、倦怠感が強い場合はホスアプレピタントと併用してday2にデカドロン錠4mg/day,day3にデカドロン錠8mg/dayの内服を推奨する。

穿刺時、生食を使用し、ポートの通過を確認すること。

オキサリプラチン：希釈は5%ブドウ糖液のみ。